

中小企業のM&Aと事業再生



株式会社 BOK コンサルティング 公認会計士：栗田貴仁 公認会計士：稲垣誠二

前月号に引き続き、事業承継にかかわる地域の現状と課題を探るべく、京都府事業引継ぎ支援センターの統括責任者である成岡秀夫氏へのインタビューレポートを掲載します。最終となる今週号では、地域経済の事業承継に関する課題や、事業引継ぎ支援センターの今後の取り組みについて紹介させていただきます。

事業承継の相談窓口

Q 地域経済の事業承継に関する課題として、どのようなことを感じますか。

【成岡氏】後継者不在という悩みについて、地域の特性なのか、第三者へ相談する経営者はそれほど多くありません。切羽詰まってからでない行動しない経営者の方が多いと感じます。

何事も早期着手が重要であることは間違いありません。取引先などステークホルダーに事業承継されることもあります。独自のネットワークだけでは難しい場合もあると思います。事業引継ぎ支援センターに相談に来られる方は、まったく事業承継のイメージがない方もあれば、「このように事業承継を考えているが大丈夫か」といったセカンドオピニオンを求められるケースもあります。事業承継に関わる相談であれば、どのような相談にも対応しています。

廃業支援

Q 事業承継を断念し廃業となってしまうケースもあります。最近では「廃業支援」という言葉もよく聞くようになりましたが、いかがでしょうか。

【成岡氏】事業承継してだけでなく、場合によっては円満に廃業していく取り組みも必要でしょう。その場合には、従業員の雇用を他社へ引き継いだり、資産の処分、債務の解消などをサポートする担い手が必要だと考えています。

経営者だけで廃業することは難しいでしょう。

また、廃業することは起業することより多大なコストがかかるともいわれます。こうした現状に対し、廃業支援、サポートの担い手が適切に存在していないことが問題と考えています。

事業承継の課題

Q 最後に、今後の取り組みなどについてお聞かせください。

【成岡氏】企業数そのものが減少していくのはやむを得ませんが、雇用の受け皿は確保する必要があります。そう考えると、事業、ひいては雇用を引き継いでいくアクションは重要だと考えています。

事業引継ぎ支援センターは、事業の引継ぎに悩みを抱える中小企業を支援する公的窓口として設置されています。まずは電話などで来所をお約束いただき、面談を実施するようにしています。センターでの面談が難しい場合は、相談者への訪問も行っています。

年商規模にかかわらず相談できますので、まずはお問合せいただければと思います。

【京都府事業引継ぎ支援センター】

京都市下京区四条通室町東入
京都経済センター 7階
TEL：075-353-7120

【成岡秀夫氏 プロフィール】

1970年 私立洛星高等学校卒業
1974年 京都大学工学部合成化学科卒業
大学卒業後は大手合成繊維・合成樹脂メーカーへ入社。事業会社の役員等を経て2004年10月に株式会社成岡マネジメントオフィス設立。2016年4月から京都府事業引継ぎセンター統括責任者に就任（現任）。

BOK コンサルティング紹介

2018年5月設立。公認会計士により組織を形成し、「M&A」と「事業再生」のアドバイザー業務を提供しており、近年問題となっている「事業承継」「後継者不在」「経営不振」などの課題解決に取り組む。



(株)BOKコンサルティング

代表取締役 栗田貴仁

〒604-8241

京都市中京区三条通新町西入ル釜座町22番地
ストークビル三条烏丸405

TEL：075-744-1985 FAX：075-744-1950

E-mai：info@bok-consulting.co.jp